

ぐるり39

～自治調査会だより～

2017
2

NO. 041

[発行日]
2017.2.1



【写真提供】檜原村 【撮影場所】払沢の滝

- ▶ オール東京62市区町村共同事業みどり東京・温暖化防止プロジェクト
 - ・みどり東京フォトコンテストの結果が発表されました …… 2
 - ・「エコプロ 2016 環境とエネルギーの未来展」に出展しました … 3
 - ・市町村助成事業紹介 …… 4
 - 東村山市 住宅用太陽光発電システム設置費補助事業
 - 国分寺市 環境シンポジウム
 - 新島村 新島村LED化事業
- ▶ 多摩交流センターだより
 - ・第24回 TAMA とことん討論会 参加者募集 …… 5
 - ・多摩発・遠隔生涯学習講座 2・3 月開催予定の講座案内 …… 6
 - ・東京雑学大学 3 月講義案内 …… 6
 - ・会議室利用登録団体の方へ 登録期限更新手続き等のごお願い …… 7
- ▶ 編集後記 …… 7
- ▶ とっておきスポット～“ココ”ご存じですか？～檜原村 …… 8

Contents

2月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球環境温暖化防止について様々な事業を展開しています。今回は、みどり東京フォトコンテストの結果発表、エコプロ2016出展報告、そして市町村共同事業を紹介します。

みどり東京フォトコンテストの結果が発表されました!

本紙6月号(No.033)でもお知らせしたように、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」では、平成26年度からフォトコンテストを実施しています。このコンテストは、写真という身近な媒体を通して、東京のみどり・自然の美しさを都民の皆さんに再評価していただくとともに、みどりの保全に関する意識の向上を図ることを目的としています。今年度は平成28年9月30日に募集を締め切り、12月に審査結果が発表され、55作品が入賞しました。

応募点数は、今年度から新たに学生奨励賞を設けたこともあり、昨年度の3,156点を大きく上回る、3,515点となりました。ご応募いただいた方々には、この場をお借りしてお礼申し上げます。なお、コンテストの結果は、「みどり東京フォトコンテストホームページ(<http://all62.jp/midori-photocon/>)」でご覧いただけます。

入賞作品は、3ページに掲載の「エコプロ2016」本プロジェクト出展ブースで紹介するとともに、この入賞作品を掲載した「2017カレンダー」を来場者へ配布しました。

なお、このカレンダーは都内各市区町村でも配布しています。

また、受賞作品の一部は、昨年度同様、「社会福祉支援」を目的として、都内福祉施設へ寄贈されますので、お近くの福祉施設で見かけることがあるかもしれません。

都民の皆様には、年間を通じ四季折々の美しい都内の風景を再認識していただきたく、これを機に撮影された場所へ足を運んでいただければ幸いです。

(※このカレンダーは、上記ホームページからダウンロードもできますので、ぜひご活用ください。)



▲エコプロ2016の会場内にて紹介しました



シーナ

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



入賞作品を掲載したカレンダー▲▶



かれん



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト



エコプロ2016 環境とエネルギーの未来展 に出展しました

平成28年12月8日(木)～10日(土)の3日間、「持続可能な社会の実現に向けて」をキャッチフレーズに、東京ビッグサイトで『エコプロ2016環境とエネルギーの未来展』が開催されました。

エコプロは、アジアを代表する環境・エネルギーの総合展示イベントとして、持続可能な社会づくりを発信しています。今回は3日間で延べ167,093人が来場し、多くの方で賑わいました。

当調査会等が企画運営する、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」も出展し、各市区町村の環境施策等を紹介しました。

エコプロ2016に
来てくれて
ありがとう!!



▲多くの来場者で賑わう
市区町村ブース



▲みどり東京フォトコンテンツを
題材にした“フォトコンクイズ”



▲当調査会理事長の並木羽村
市長をはじめ多くの首長が
来場しました

今回は「みどり東京ミュージアム 山から、まちから、島から～エコ活動の博物館～」をテーマに、会場全体を博物館風のイメージでブース展示を行いました。参加自治体の個性あふれる環境活動を、パネル展示・ワークショップ・ステージショー・スタンプラリーなどで紹介しました。

各参加自治体のクイズに答えて、オリジナルスタンプを集めるスタンプラリーも実施しました。スタンプラリーのゴールでは、参加自治体から提供された環境グッズが配られました。また、多くの首長が来場し、各自自治体の取組を熱心に視察していました。

本プロジェクトでは今後も、大人から子どもまで楽しめる取組や、地球温暖化防止に対する普及啓発に取り組んでいきます。



▲伐採した街路樹再利用の
ワークショップ



▲ステージを利用して開催した
利き水イベント



▲スタンプラリーのゴール



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

シーナ



かれん



本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本プロジェクトの助成金を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施されている事業を紹介します。

1 東村山市

住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

東村山市では、地球温暖化対策への取組として、再生可能エネルギーの利用促進を目的に、公共施設に太陽光発電システムを設置しています。また、家庭における取組への意識をより高めるため、住宅用太陽光発電システムを設置した家庭へ設置費用の一部補助も行っています。

太陽光発電システムを設置した方からは、環境への配慮から設置したとの声もあり、環境への意識を高めることにも繋がっています。今後も家庭での再生可能エネルギーの利用を一層進めるため、事業を継続して実施していきます。

【問合せ先】東村山市 環境・住宅課 TEL:042-393-5111



2 国分寺市

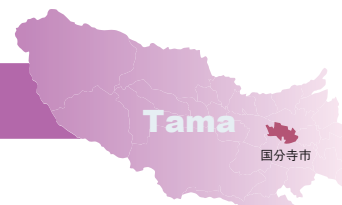
環境シンポジウム

国分寺市では、毎年2月初旬に「環境シンポジウム」を開催し、テーマに合った講師を招いての情報提供や、情報交換を行っています。

今年度は、平成29年2月4日(土)13:30から国分寺Lホール(国分寺駅ビル8階)において、「国分寺の水辺を考える～緑と水のネットワークの構築に向けて～」と題して、環境シンポジウムを開催します。

シンポジウムを通して、用水や水路が果たしてきた役割を認識することで、今後、市内の水辺をどのように整備保全し、緑と水のネットワークを構築すべきか考えるためのヒントを提供していきます。

【問合せ先】国分寺市 環境計画課 TEL:042-328-2192



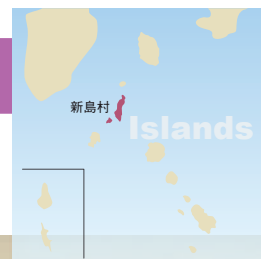
3 新島村

新島村LED化事業

新島村では、村施設をLED化することにより、島内の省エネに寄与するとともに、住民のエコロジーを推進することを目的とする「新島村LED化事業」を行っています。今年度は、子どもたちが多く利用する新島村勤労福祉会館の全面LED化を実施する予定です。

当村は現在、国のNEDO事業への協力を行っており、再生可能エネルギーの推進及びエコ推進の気運が向上しつつあります。本助成金により、まずは村が率先して村施設を省エネ化することで、村全体でのLED照明などの環境に配慮した省エネルギー機器等の使用普及を推進していきます。

【問合せ先】新島村 企画財政課 TEL:04992-5-0204





多摩交流センターだより

第24回

TAMA

とことん

討 論 会

参加者
募集

少子高齢化社会という言葉聞くようになってから、かなりの年月が経ちました。元気に活動している人にとって、老いは他人事。でも、私たちはみんな赤ちゃんとして生まれ、様々な経験を重ねながら成長して大人になり、高齢者になっていきます。

年齢を重ねていくと、それまでできていたことが自然とできにくくなってしまいます。特に毎日付き合わなくてはならない「ごみ」の分別や持ち出しに関しては、それが顕著に現れてきます。

そこで今回のTAMAとことん討論会は、すべての人たちに共通する「老いのごみ問題」について、本音で語り合える場を設けることにしました。ごみ問題に関心のある方だけでなく、高齢者福祉や生活支援に関わっている方々のご参加もお待ちしております。

- テーマ 超高齢化社会とごみ問題～^{ひとこと}他人事ではない! いずれあなたも“おとしより”～
- 日時 平成29年3月11日(土) 12:30開場 13:00～16:30
- 会場 国分寺Lホール(国分寺市南町3-20-3 国分寺駅ビル8階 JR国分寺駅直結)
- 参加費 500円(資料代・ワークショップ茶菓代) 当日お支払いください。
- 主催 第24回TAMAとことん討論会実行委員会
(特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦、公益財団法人東京市町村自治調査会)
- 後援 東京都 東京都市長会 東京都町村会 国分寺市 公益社団法人東京都リサイクル事業協会
一般社団法人廃棄物資源循環学会 (予定含む)
- 内容 以下のとおり(詳細は<http://www.renpou.org> 申し込みもできます)

開会のあいさつ

話題提供1

高齢者と集いの場とごみ問題と・・・
浅井 直樹(しげんカフェ主宰)

話題提供2

アンケート・ヒアリング報告
江尻 京子(東京・多摩リサイクル市民連邦事務局長)

ワークショップ

ワールドカフェ方式で行います。

&

全体討論

コーディネーター
山本 耕平
(ダイナックス都市
環境研究所所長)

閉会のあいさつ



▲昨年の全体討論の様子

○参加方法

当日参加もできますが、できるだけ事前申込にご協力ください。なお、3月4日(土)までに事前申込をし、当日開会から閉会まで参加した方(申込み先着50名)には、参加記念品を差し上げます。詳細は返送する参加票をご覧ください。

※事前申込の方法 住所、氏名、電話番号、所属をメールまたはFAX、ハガキで事務局まで送ってください。

○問合せ・申込み先

第24回TAMAとことん討論会実行委員会事務局(特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦事務局内)
〒206-0011 多摩市関戸1-11-7 グリービル602号 電話 090-3818-7006 FAX 042-400-0096
E-mail tama.recycle@gmail.com ※問合せはできるだけメールでお願いします。

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会

2・3月開催予定の講座案内

156回

題名

上手に老いて上手に死のう～元気で長生きピンピンコロリ～

日時 平成29年2月9日(木) 14:30から約1時間

講師 山本 思外里 氏(東京都民間カルチャー事業協会顧問、元読売・日本テレビ文化センター社長)

内容 高齢者のだれもが抱えている「死に方不安」を解消するには、「上手な老い方をすれば上手な死に方が可能になる」という死生学(サナトロジー)の教を学ぶ必要があります。死ぬ間際まで元気に活動し、だれにも迷惑をかけずにコロリとあの世に逝く「ピンピンコロリ(ポックリ死)」は決して幻想ではありません。正しい生活習慣を守って寝たきりになるのを防ぎ、健康で長生きすれば、終末期の病臥期間をほぼ確実に短縮できるのです。



157回

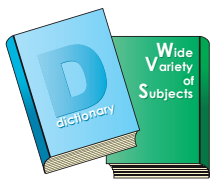
題名 先進諸国の構造変化の中で～所得格差拡大とパナマ文書

日時 平成29年3月9日(木) 14:30から約1時間 講師 新飯田 宏 氏(横浜国立大学名誉教授)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成29年3月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は3月9日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	会場
第1076回	3月2日(木) 14:00から	民間社会の天と神仏	深谷 克己 氏 (早稲田大学名誉教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1077回 ※	3月9日(木) 14:30から	先進諸国の構造変化の中で ～所得格差拡大とパナマ文書	新飯田 宏 氏 (横浜国立大学名誉教授)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1078回	3月16日(木) 14:00から	紙芝居の魅力をさぐる	濱中 健 氏 (紙芝居研究者、元東京教育心理研究所所長)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1079回	3月23日(木) 14:00から	日本画の技法(仮題)	伊東 正次 氏 (日本画家)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1080回	3月26日(日) 14:00から	田村俊子「彼女の生活」を読む	岩淵 宏子 氏 (城西国際大学客員教授、日本女子大学名誉教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1077回は、第157回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

会議室利用登録団体の方へ 登録期限更新手続き等のごお願い

会議室利用登録の更新について

多摩交流センター会議室利用登録団体の登録期限は、登録または更新してから3年度目の3月31日までです。登録の更新を希望する場合、所定の書類を提出していただいています。該当する団体には更新のご案内を通知しますので、期日までに必ずご提出ください。

ロッカー・棚の貸出について

会議室利用登録団体貸出しロッカー・棚の利用期限は、毎年3月31日までです。現在利用している団体は期日までにロッカー・棚の荷物を引き上げてください。また、平成29年度の利用を希望する団体は所定の書類を提出していただきます。

貸出団体及びご利用いただくロッカー・棚の場所は、抽選で決定します。

忘れ物・落とし物について

会議室や印刷室等での様々な忘れ物・落とし物をお預かりしています。心当たりのある方は事務室までお問合せください。また、会議室利用後は忘れ物・落とし物がないか、団体のみなさんで必ずご確認ください。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

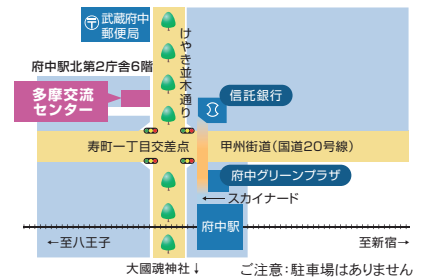
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- たくさんのご馳走が食卓を飾る楽しいお正月もあっという間に過ぎ、2月になりました。みなさん、年末年始は、食べ残しを出すことなく、食事を楽しむことができましたでしょうか？
- 東京都の調査によると、食品廃棄物量は、事業系と家庭系を合わせて年間197万tにのぼり、そのうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆるフードロスは、22～26万tとされています。これは、都民1人あたりになると約16kg～19kgにもなり、その多さには驚かされます。
- フードロスの削減は、廃棄物の発生抑制のみにとどまらず、生産や流通面においても、温室効果ガス排出削減などの環境負荷低減効果があり、国や東京都をはじめ、様々な主体による取組が行われています。
- 本紙記事(3ページ)で紹介のとおり、昨年12月に国内最大規模の環境展示会「エコプロ2016」が開催されました。当調査会等が事務局を務め、都内の市区町村が参加するオール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」も出展し、参加自治体の個性あふれる環境活動を、パネル展示、ワークショップ、ステー

ジショーやスタンプラリーなどで、来場者に親しみやすく紹介しました。

- 各ブースでは、再生可能エネルギー創出や地域特性を活かした緑保全の取組のほか、冒頭に触れたフードロス削減の取組などについても、自治体職員が来場者にわかりやすく説明しました。
- 取組事例の一部を紹介すると、小盛りメニューやハーフサイズの導入などで食べ残し削減、食べきりに協力する地域内の飲食店を“もったいない推進店”に認定し、その飲食店を自治体ホームページに掲載して、普及を進めているものや、家庭で余っている食べ物を持ち寄り、それらを福祉団体、フードバンクなどに寄付する“フードドライブ”活動などが紹介されていました。
- このような展示会に各自自治体が出展し、様々な取組を紹介することで、事業の相乗効果は高まり、フードロス削減等の新たな取組が普及していくのではないのでしょうか。
- 今後も、当調査会等が企画運営するオール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」により、各市町村の環境施策に役立つよう事業を推進していきたいと思えます。(M.M)

とっておきスポット

第29回 檜原村

“ココ”
ご存じ
ですか?

檜原村といえば、表紙の払沢の滝を連想するかもしれないけど、
今回はわたげのボクが「小林家住宅」を紹介するよ。

小林家住宅は、18世紀前半（江戸時代中期）に建てられた、かやぶき屋根の山岳民家だよ。檜原村の北西部・標高750mの尾根道に建っていて、建設された場所にそのまま保存されているとても貴重な建物なんだ。重要文化財にも指定されてるんだって。主屋はもちろん、附属屋・炭焼き窯・湧泉・木炭の運搬に用いた尾根道など、周辺環境が良好な状態で整備されていて、炭焼きや養蚕で生計を立てていた当時の暮らしぶりを感じられるよ。

縁側からは、檜原村のハイキングコースとして人気の浅間尾根を見渡せたり、春には住宅の周りのツツジが咲き乱れたりして、四季折々の景観も魅力なんだ。



周囲に植えられたたくさんのツツジが花を咲かせる毎年4月には、「つつじ祭り」が開催されるんだ。獅子舞・太鼓の披露や地元の農作物・イノシシ汁・餅などの販売が行われるよ。

地元の方たちが中心になって開催しているお祭りだから、とっても手づくり感があって、人々の温かさを感じられるのも魅力なんだ。

山の斜面に座って伝統芸能を楽しんだり、雄大な山々を眺めながら地元ならではのグルメを味わったりするのもいいよね。みなさんもぜひ、ふわっと行ってみたい！



【現地案内】

西多摩郡檜原村藤倉4994
JR五日市線「武蔵五日市」駅から西東京バス「藤倉」行き終点下車、上り徒歩約35分

【見学時間】

[4~10月] 10:00~16:00
[11~3月] 10:00~15:00



【問合せ】

《小林家住宅管理棟》
090-5543-0750(9:30~16:00・火曜休)
《檜原村教育委員会》
042-598-1011(8:30~17:15・土日祝休)

【情報・写真提供】

檜原村産業環境課 TEL 042-598-1011(代表)

【発行日】平成29年2月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。